

テーマ：自然 ビオトープごっこ

0歳児クラス 12名30分

(2日間)

活動

- ・園庭のビオトープを模した自然物に興味を持ち、圧縮袋に入れた自然物と安全に触れ合う。
- ・いろいろな感触・音・色に触れて、五感を刺激する。

準備したもの

草、花、砂、石、砂利、水、
布団の圧縮袋、傘袋

○活動内容

- ・自然物を圧縮袋越しに見たり触れたりする中で、自然の色や形・感触に興味を持つ。
- ・自然に親しむ第一歩として、身近な自然物に触れる経験を室内で安心して楽しむ。
- ・自分の動きに合わせて感触や動きの変化を感じることを楽しむ。

○保育者の問いかけやアプローチ

- ・様々な色や形、感触の自然物を用意して安全に配慮して圧縮袋に入れ、自然物を直接触れなくても感触や視覚的な刺激を安全に味わえるよう配慮した。
- ・「これは葉っぱだね、シャカシャカするね」「お花きれいだね」などと声をかけ、子どもの視線や動きに合わせて働きかけた。不安そうな表情の子には保育者も一緒に触れて楽しむ姿を見せるようにした。

○子どもの様子

- ・はじめて提供した時は目を丸くしてじっと袋を見つめ、少し恐る恐る触れている子もいたが、はじめから興味津々で触る子も多かった。両手で押ししたり、足で踏んでみたり、寝転んだりして全身で感触を楽しんでいた。また指先でじっくり一つ一つの感触や動きなど確かめる子もいた。
- ・傘袋に入れた水の中に浮かべた花の動きを目で追ったり、指で触ったり動きを観察していた。



○振り返り

園庭にピオトープができ、保護者からめだかをいただいたこともあり、子どもたちが、なんとなく動くめだかを追視する姿も見られていた。本来は自然物に直接触れ、五感を刺激したいところだが、口探索が盛んな月齢の子もいたことで、どうしたら子どもたちが興味をもって探索できるかを保育者同士で話し合い、圧縮袋に入れることを考えた。

袋の上からではあるが、色などの視覚的な感覚や、様々な触覚などを試していて、この年齢でも安心して自然物の探索活動を楽しむことが出来たと思う。

また、活動を一回で終わらせず2日間行うことで、1日目は警戒していた子やあまり興味を示さなかった子も興味を持って遊ぼうとする姿が見られたので良かった。

これから成長と共に、実際の自然物の触れられる機会が作れると良いと思う。